

ダイワ・グローバル金融機関 (G-SIBs) 債券ファンド (為替ヘッジあり/部分為替ヘッジあり) 2016-11

運用報告書(全体版) 第15期

(決算日 2024年3月11日)

(作成対象期間 2023年9月12日～2024年3月11日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	2016年11月29日～2026年9月10日	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ・グローバル金融機関 (G-SIBs) 債券マザー ファンドの受益証券
	ダイワ・グローバル 金融機関 (G-SIBs) 債券マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル 建ての社債および国債
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の銀行が発行する外貨建ての社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3633>
<3634>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

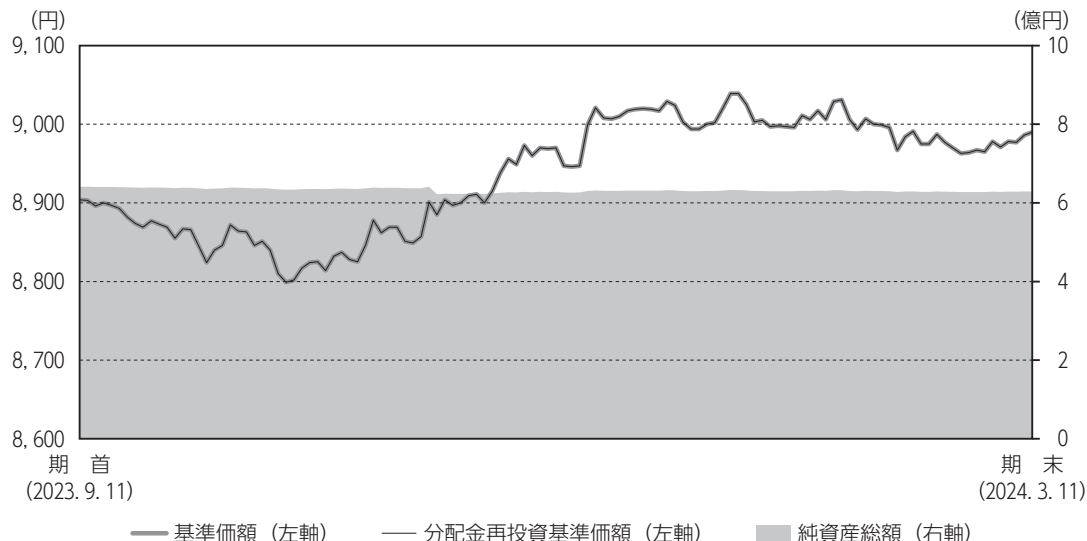
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			受 益 者 利 回 り	公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	元 本 残 存 率
		税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2016年11月29日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期末 (2017年 3 月10日)	9,738	50	△ 212	△ 2.1	△ 7.6	94.2	—	100.0
2 期末 (2017年 9 月11日)	10,176	95	533	5.5	4.1	95.5	—	100.0
3 期末 (2018年 3 月12日)	9,640	80	△ 456	△ 4.5	△ 1.1	94.9	—	96.7
4 期末 (2018年 9 月10日)	9,518	50	△ 72	△ 0.7	△ 1.2	98.4	—	96.7
5 期末 (2019年 3 月11日)	9,728	25	235	2.5	0.1	96.2	—	96.7
6 期末 (2019年 9 月10日)	10,294	25	591	6.1	2.2	98.9	—	83.3
7 期末 (2020年 3 月10日)	10,479	50	235	2.3	2.6	91.5	—	63.3
8 期末 (2020年 9 月10日)	10,865	120	506	4.8	3.6	96.1	—	50.0
9 期末 (2021年 3 月10日)	10,564	120	△ 181	△ 1.7	2.8	99.8	—	48.0
10期末 (2021年 9 月10日)	10,600	135	171	1.6	2.8	97.8	—	48.0
11期末 (2022年 3 月10日)	9,807	135	△ 658	△ 6.2	1.3	99.9	—	48.0
12期末 (2022年 9 月12日)	9,246	70	△ 491	△ 5.0	0.3	101.3	—	48.0
13期末 (2023年 3 月10日)	9,007	0	△ 239	△ 2.6	△ 0.1	97.3	—	48.0
14期末 (2023年 9 月11日)	8,904	0	△ 103	△ 1.1	△ 0.2	97.7	—	48.0
15期末 (2024年 3 月11日)	8,990	0	86	1.0	△ 0.1	97.0	—	46.6

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,904円

期末：8,990円（分配金0円）

騰落率：1.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・グローバル金融機関（G-SIBs）債券マザーファンド」の受益証券を通じて、主としてG-SIBsに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、為替ヘッジコストはマイナス要因となりましたが、社債金利が低下（債券価格は上昇）したことや保有債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券ファンド（為替ヘッジあり） 2016－11

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 率 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期首) 2023年 9 月11日	円	% 8,904 —	% 97.7	% —
9 月末	8,867	△ 0.4	99.3	—
10月末	8,828	△ 0.9	98.0	—
11月末	8,956	0.6	96.4	—
12月末	9,024	1.3	93.3	—
2024年 1 月末	9,006	1.1	97.2	—
2 月末	8,967	0.7	99.5	—
(期末) 2024年 3 月11日	8,990	1.0	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 9. 12 ～ 2024. 3. 11)

■米国債券市況

米国債券市況は、米国国債金利・社債金利ともに低下しました。

米国債券市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの、金融引き締め環境の長期化や底堅い米国経済見通しを示唆したことから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。2023年10月に入っても、引き続き良好な経済指標が確認されたことや国債の需給悪化などが嫌気され、長期主導で金利上昇が継続しました。しかし11月は、F R Bが政策金利を据え置いたことや、雇用およびインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、金利は低下基調となりました。しかし2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は上昇基調で推移しました。

米ドル建社債については、当作成期首から2023年10月にかけて、金融引き締めの長期化が意識された局面では、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大し、社債金利は上昇しました。その後は、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、投資家のリスク選好姿勢が強まり、スプレッドは縮小に転じました。2024年以降は、国債金利が上昇基調で推移する中でスプレッドはおおむね横ばいとなり、社債金利は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B s（※）に指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

※G－S I B s（Global Systemically Important Banks）とは

主要各国の中央銀行、金融監督当局等で構成される金融安定理事会（F S B）が指定した、金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な銀行をいいます。一般の銀行と比較し、自己資本の強化が要請される等、厳しい監督を受けることから、安全性の高い健全な経営が求められます。

ポートフォリオについて

（2023. 9. 12 ～ 2024. 3. 11）

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、ヘッジコストの上昇で収益性が低迷しているため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が9,289,841円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益9,289,841円（1万口当り132.71円）が分配対象額となりますが、上記の理由により、分配を行っておりません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 9. 12～2024. 3. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0. 273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 936円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0. 096)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	26	0. 289	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

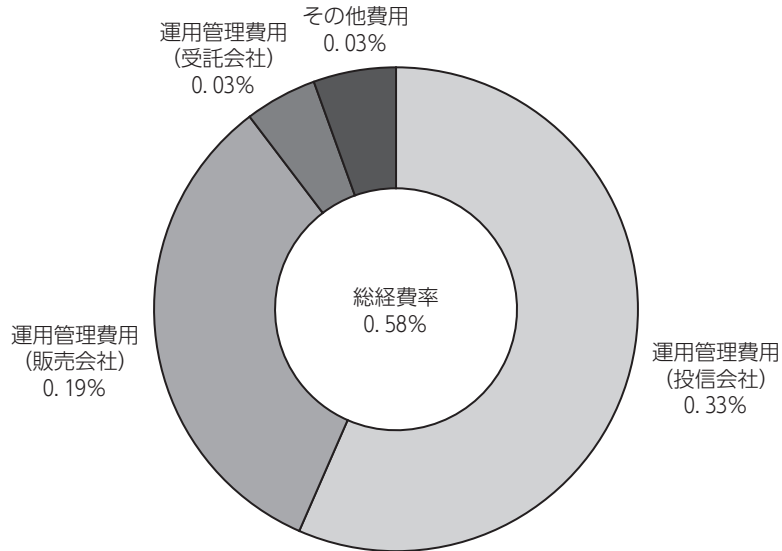
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年9月12日から2024年3月11日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	—	—	28,203	45,030

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	414,971	386,768	629,542	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	629,542	96.7
コール・ローン等、その他	21,722	3.3
投資信託財産総額	651,265	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.82円です。

(注3) ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,840,336千円）の投資信託財産総額（1,859,553千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,246,053,666円
コール・ローン等	21,722,867
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド（評価額）	629,542,900
未収入金	594,787,899
(B) 負債	616,726,969
未払金	614,989,831
未払信託報酬	1,711,301
その他未払費用	25,837
(C) 純資産総額（A－B）	629,326,697
元本	700,000,000
次期繰越損益金	△ 70,673,303
(D) 受益権総口数	700,000,000口
1万口当り基準価額（C／D）	8,990円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,990円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は70,673,303円です。

■損益の状況

当期 自 2023年9月12日 至 2024年3月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,062円
受取利息	2
支払利息	△ 1,064
(B) 有価証券売買損益	△ 2,721,781
売買益	44,741,859
売買損	△ 47,463,640
(C) 有価証券評価差損益	10,557,007
(D) 信託報酬等	△ 1,790,166
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	6,043,998
(F) 前期繰越損益金	△ 78,915,301
(G) 解約差損益金	2,198,000
(H) 合計（E＋F＋G）	△ 70,673,303
次期繰越損益金（H）	△ 70,673,303

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は6ページをご参照ください。

部分為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			受 益 者 利 回 り	公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	元 本 残 存 率
		税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
設 定 (2016年11月29日)	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2016年11月29日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期末 (2017年 3 月10日)	9,841	50	△ 109	△ 1.1	△ 3.9	95.3	—	100.0
2 期末 (2017年 9 月11日)	10,119	110	388	3.9	3.5	96.0	—	100.0
3 期末 (2018年 3 月12日)	9,550	100	△ 469	△ 4.6	△ 1.5	95.6	—	76.0
4 期末 (2018年 9 月10日)	9,542	80	72	0.8	△ 0.7	98.6	—	76.0
5 期末 (2019年 3 月11日)	9,768	60	286	3.0	0.7	96.9	—	76.0
6 期末 (2019年 9 月10日)	10,251	60	543	5.6	2.6	98.6	—	76.0
7 期末 (2020年 3 月10日)	10,332	75	156	1.5	2.6	92.9	—	60.0
8 期末 (2020年 9 月10日)	10,827	130	625	6.0	3.9	96.1	—	60.0
9 期末 (2021年 3 月10日)	10,610	120	△ 97	△ 0.9	3.3	98.6	—	60.0
10期末 (2021年 9 月10日)	10,690	135	215	2.0	3.4	98.1	—	60.0
11期末 (2022年 3 月10日)	10,065	135	△ 490	△ 4.6	2.1	99.1	—	60.0
12期末 (2022年 9 月12日)	10,142	90	167	1.7	2.2	100.2	—	56.0
13期末 (2023年 3 月10日)	9,807	5	△ 330	△ 3.3	1.5	97.1	—	56.0
14期末 (2023年 9 月11日)	10,009	0	202	2.1	1.7	97.3	—	56.0
15期末 (2024年 3 月11日)	10,197	0	188	1.9	1.8	96.9	—	56.0

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

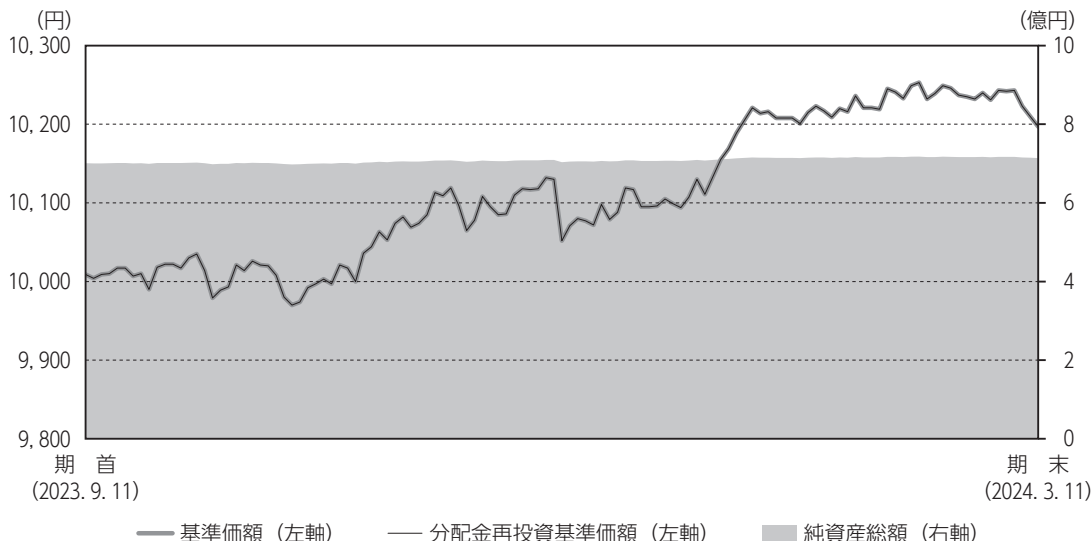
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,009円

期末：10,197円（分配金0円）

騰落率：1.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を通じて、主としてG－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行った結果、為替ヘッジコストはマイナス要因となりましたが、社債金利が低下（債券価格は上昇）したことや保有債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 率 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期首) 2023年 9 月11日	円	%	%	%
	10, 009	—	97. 3	—
9 月末	10, 030	0. 2	98. 9	—
10月末	10, 000	△ 0. 1	98. 0	—
11月末	10, 110	1. 0	96. 7	—
12月末	10, 094	0. 8	94. 4	—
2024年 1 月末	10, 209	2. 0	97. 2	—
2 月末	10, 240	2. 3	98. 7	—
(期末) 2024年 3 月11日	10, 197	1. 9	96. 9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 9. 12 ～ 2024. 3. 11）

■米国債券市況

米国債券市況は、米国国債金利・社債金利ともに低下しました。

米国債券市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの、金融引き締め環境の長期化や底堅い米国経済見通しを示唆したことから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。2023年10月に入っても、引き続き良好な経済指標が確認されたことや国債の需給悪化などが嫌気され、長期主導で金利上昇が継続しました。しかし11月は、F R Bが政策金利を据え置いたことや、雇用およびインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、金利は低下基調となりました。しかし2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は上昇基調で推移しました。

米ドル建社債については、当作成期首から2023年10月にかけて、金融引き締めの長期化が意識された局面では、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大し、社債金利は上昇しました。その後は、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、投資家のリスク選好姿勢が強まり、スプレッドは縮小に転じました。2024年以降は、国債金利が上昇基調で推移する中でスプレッドはおおむね横ばいとなり、社債金利は上昇しました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇（円安）しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じましたが、当作成期末にかけては、日銀による金融政策修正に対する思惑が高まったことで、円高米ドル安が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B s（※）に指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

※G－S I B s（Global Systemically Important Banks）とは

主要各国の中央銀行、金融監督当局等で構成される金融安定理事会（F S B）が指定した、金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な銀行をいいます。一般の銀行と比較し、自己資本の強化が要請される等、厳しい監督を受けることから、安全性の高い健全な経営が求められます。

ポートフォリオについて

（2023. 9. 12 ～ 2024. 3. 11）

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、ヘッジコストの上昇で収益性が低迷しているため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額が13,761,790円であり、経費控除後の配当等収益10,532,831円を超過しているため、純資産額の元本超過額13,761,790円（1万口当り196.59円）が分配対象額となりますが、上記の理由により、分配を行っておりません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

■ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 9. 12～2024. 3. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0. 273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 113円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0. 096)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	29	0. 288	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

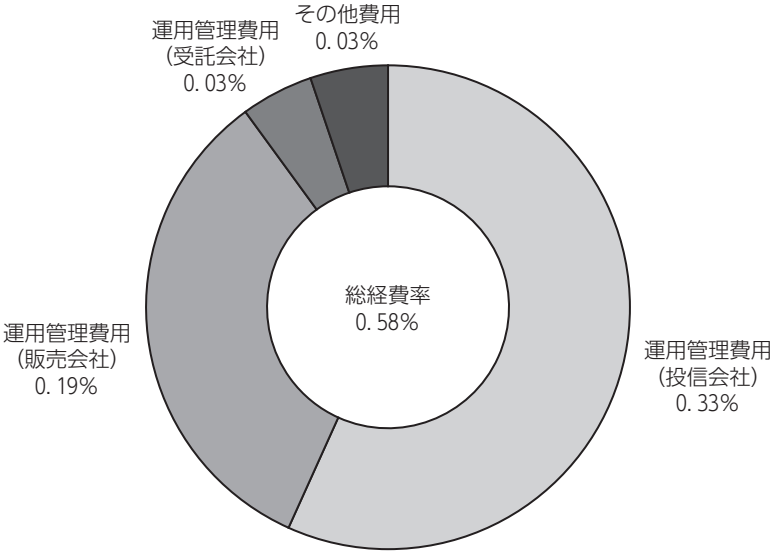
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年9月12日から2024年3月11日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	—	—	13,572	21,470

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	451,627	438,054	713,021

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド	713,021	97.5
コール・ローン等、その他	18,504	2.5
投資信託財産総額	731,526	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.82円です。

(注3) ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,840,336千円）の投資信託財産総額（1,859,553千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,212,286,278円
コール・ローン等	18,397,980
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド（評価額）	713,021,832
未収入金	480,866,466
(B) 負債	498,524,488
未払金	496,559,716
未払信託報酬	1,935,815
その他未払費用	28,957
(C) 純資産総額（A－B）	713,761,790
元本	700,000,000
次期繰越損益金	13,761,790
(D) 受益権総口数	700,000,000口
1万口当り基準価額（C／D）	10,197円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,197円です。

■損益の状況

当期 自 2023年9月12日 至 2024年3月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 972円
受取利息	4
支払利息	△ 976
(B) 有価証券売買損益	△ 6,168,693
売買益	30,305,014
売買損	△ 36,473,707
(C) 有価証券評価差損益	21,266,920
(D) 信託報酬等	△ 1,997,505
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	13,099,750
(F) 前期繰越損益金	662,040
(G) 合計（E＋F）	13,761,790
次期繰越損益金（G）	13,761,790

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) 収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2024年3月11日）

（作成対象期間 2023年9月12日～2024年3月11日）

ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債および国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

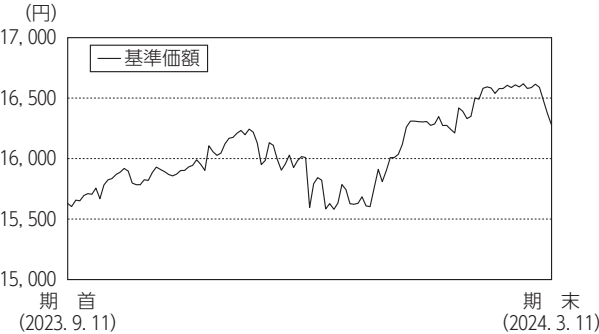
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率 %		
(期首) 2023年 9月11日	15,629	—	96.6	—
9月末	15,888	1.7	98.4	—
10月末	15,902	1.7	98.5	—
11月末	15,956	2.1	97.9	—
12月末	15,603	△ 0.2	97.6	—
2024年 1月末	16,275	4.1	97.4	—
2月末	16,619	6.3	97.1	—
(期末) 2024年 3月11日	16,277	4.1	97.0	—

(注 1) 騰落率は期首比。
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：15,629円 期末：16,277円 騰落率：4.1%
【基準価額の主な変動要因】

主としてG－S I B s（※）に指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、社債金利が低下（債券価格は上昇）したことや保有債券からの利息収入などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。
※G－S I B s（Global Systemically Important Banks）とは、主要各国の中央銀行、金融監督当局等で構成される金融安定理事会（F S B）が指定した、金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な銀行をいいます。一般の銀行と比較し、自己資本の強化が要請される等、厳しい監督を受けることから、安全性の高い健全な経営が求められます。

◆投資環境について

○米国債券市況
米国債券市況は、米国国債金利・社債金利ともに低下しました。
米国債券市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの、金融引き締め環境の長期化や底堅い米国経済見通しを示唆したことから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。2023年10月に入っても、引き続き良好な経済指標が確認されたことや国債の需給悪化などが嫌気され、長期主導で金利上昇が継続しました。しかし11月は、F R Bが政策金利を据え置いたことや、雇用およびインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、金利は低下基調となりました。しかし2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は上昇基調で推移しました。
米ドル建社債については、当作成期首から2023年10月にかけて、金融引き締め環境の長期化が意識された局面では、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大し、社債金利は上昇しました。その後は、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことで、投資家のリスク選好姿勢が強まり、スプレッドは縮小に転じました。2024年以降は、国債金利が上昇基調で推移する中でスプレッドはおおむね横ばいとなり、社債金利は上昇しました。

○為替相場
米ドル為替相場は、対円で下落（円高）しました。
米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇（円安）しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じましたが、当作成期末にかけては、日銀による金融政策修正に対する思惑が高まったことで、円高米ドル安が進みました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」
主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて
主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として、G－S I B sに指定された世界の銀行が発行する米ドル建ての債券に投資し、当ファンドの信託期間内に償還が見込まれる銘柄によるポートフォリオを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一 円
有価証券取引税	—
その他費用 （保管費用） （その他）	1 (1) (0)
合 計	1

（注 1）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
（注 2）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債				(2023年 9 月12日から2024年 3 月11日まで)	
			買 付 額	売 付 額	
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	
			—	3, 673	(—)

（注 1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注 2）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注 3）社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
（注 4）単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債				(2023年 9 月12日から2024年 3 月11日まで)	
買 付		当 期		期 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額		
	千円		千円		
		Barclays PLC（イギリス） 4. 375% 2026/1/12	56, 430		
		UBS Group Funding Switzerland AG（スイス） 4. 125% 2026/4/15	55, 968		
		HSBC Holdings PLC（イギリス） 3. 9% 2026/5/25	55, 880		
		Mizuho Financial Group Inc（日本） 3. 477% 2026/4/12	55, 757		
		Wells Fargo & Co（アメリカ） 3% 2026/4/22	54, 956		
		Sumitomo Mitsui Financial Group Inc（日本） 2. 632% 2026/7/14	54, 434		
		GOLDMAN SACHS GROUP INC.（アメリカ） 3. 75% 2026/2/25	42, 116		
		CITIGROUP INC（アメリカ） 3. 4% 2026/5/1	41, 690		
		Mitsubishi UFJ Financial Group Inc（日本） 3. 85% 2026/3/1	28, 166		
		BANK OF AMERICA CORP.（アメリカ） 3. 5% 2026/4/19	27, 905		

（注 1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注 2）単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 12, 700	千アメリカ・ドル 12, 287	千円 1, 804, 084	% 97. 0	% —	% —	% 71. 4	% 25. 6

（注 1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注 2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注 3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注 4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		JPMorgan Chase & Co	社 債 券	3.3000	千アメリカ・ドル 1,100	千アメリカ・ドル 1,066	千円 156,590	2026/04/01
		Credit Agricole SA/London	社 債 券	3.8750	250	249	36,649	2024/04/15
		Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	3.4770	800	773	113,591	2026/04/12
		Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	3.8500	1,000	979	143,779	2026/03/01
		State Street Corp	社 債 券	2.6500	200	191	28,072	2026/05/19
		Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	2.6320	1,000	948	139,271	2026/07/14
		HSBC Holdings PLC	社 債 券	3.9000	800	778	114,231	2026/05/25
		Bank of New York Mellon Corp/The	社 債 券	2.8000	600	575	84,444	2026/05/04
		Barclays PLC	社 債 券	4.3750	800	785	115,392	2026/01/12
		UBS Group Funding Switzerland AG	社 債 券	4.1250	800	780	114,604	2026/04/15
		CITIGROUP INC	社 債 券	3.4000	1,000	966	141,882	2026/05/01
		BANK OF AMERICA CORP.	社 債 券	3.5000	800	779	114,424	2026/04/19
		Wells Fargo & Co	社 債 券	3.0000	800	767	112,674	2026/04/22
		MORGAN STANLEY	社 債 券	3.1250	1,000	958	140,737	2026/07/27
		GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社 債 券	3.7500	1,000	978	143,695	2026/02/25
		ROYAL BANK OF CANADA	社 債 券	1.1500	500	459	67,405	2026/07/14
		BPCE SA	社 債 券	4.0000	250	249	36,636	2024/04/15
合 計	銘柄数	17銘柄						
	金 額				12,700	12,287	1,804,084	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,804,084	% 97.0
コール・ローン等、その他	55,469	3.0
投資信託財産総額	1,859,553	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.82円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（1,840,336千円）の投資信託財産総額（1,859,553千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月11日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,859,553,815円
コール・ローン等	38,554,454
公社債（評価額）	1,804,084,372
未収利息	16,914,989
(B)負債	—
(C)純資産総額（A－B）	1,859,553,815
元本	1,142,458,300
次期繰越損益金	717,095,515
(D)受益権総口数	1,142,458,300口
1万口当り基準価額（C／D）	16,277円

* 期首における元本額は1,524,618,818円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は382,160,518円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券ファンド（為替ヘッジあり）2017－01 253,907,209円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－01 63,727,885円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券ファンド（為替ヘッジあり）2016－11 386,768,385円
ダイワ・グローバル金融機関（G－S I B s）債券ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－11 438,054,821円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,277円です。

■損益の状況

当期 自 2023年 9月12日 至 2024年 3月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35,090,877円
受取利息	35,093,965
支払利息	△ 3,088
(B) 有価証券売買損益	57,948,741
売買益	60,398,160
売買損	△ 2,449,419
(C) その他費用	△ 117,429
(D) 当期損益金 (A + B + C)	92,922,189
(E) 前期繰越損益金	858,282,808
(F) 解約差損益金	△ 234,109,482
(G) 合計 (D + E + F)	717,095,515
次期繰越損益金 (G)	717,095,515

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。